

昭和三十三年九月三十日
第三回定例会々議録

昭和三十三年館山市議公第三回定例会公議錄

一、昭和三十三年九月三十日午前十時館山市議公第三回定例会を館山市役所分館会議室に招集。

出席議員（三十三名）

| | | | |
|------|---------|------|--------|
| 一 番 | 石井 潔 | 二 番 | 高橋 文治 |
| 三 番 | 伊勢仙之助 | 四 番 | 小浜 光義 |
| 五 番 | 後藤 中一 | 六 番 | 秋山 万次 |
| 七 番 | 鈴木 市蔵 | 八 番 | 金 木 久一 |
| 九 番 | 安西 政治 | 一〇 番 | 田中 録郎 |
| 一一 番 | 勝田 順一 | 一二 番 | 吉田 勇治郎 |
| 一三 番 | 小 天 太助 | 一四 番 | 中 村 良五 |
| 一五 番 | 小 谷 照達 | 一六 番 | 嶋 貫 壯作 |
| 一八 番 | 佐々田 爲次郎 | 一九 番 | 黒川 佐太郎 |
| 二〇 番 | 山口 房治 | 二二 番 | 小沢 恵太郎 |

二三番 福岡保徳

二四番 山本 昇

二五番 松本藤太郎

二六番 可世木芳蔵

二七番 鈴木 孝

二八番 山口 康

二九番 遠山ヨネ子

三〇番 磯辺周雄

三一番 大野清五郎

三二番 望月暉作

三三番 田中忠蔵

三四番 飯田義男

三五番 嶋田 繁

一欠席議員(二名)

一六番 田村善兵衛

二一番 井坂生田七郎

一法第二十二条による出席説明員

市長 田村利男

助役 小出武男

収入役代理 眞田森吉

総務課長 完戸 貴

保健課長

唐沢貞太郎

商工水産課長

吉田耕一

建設課長

新井重助

農産振興課長

高木哲三

秘書課長

山谷珣祖

厚生課長

羽山亨雄

技研第一課長

黒瀬芳雄

技研第二課長

山口 実

診療所事務長

池田亮山

福祉事務所長

長谷川広治

監査委員会事務

越路良夫

教育委員会教育長

工藤和平

教育委員会庶務課長 髙沢貴寛

一本議会の事務局長あよぶ書記

事務局長

高松清一

書記

万田博雄

同

奥田幸男

嘱託

畑中弘敬

一 昭和三十三年館山市議会第三次定例会議事日程

昭和三十三年九月三十日午前十時開議

日程第一 報告第八号 昭和三十三年度八月臨時出物検査報告

報告第九号 昭和三十三年度九月臨時出物検査報告

報告第十号 公益賣屋検査報告

〃 第二議案第八号 公平委員会の委員の選任について

〃 第三議案第八号 監査委員の選任について

〃 第四議案第八号 教育委員会の委員の任命について

〃 第五議案第八号 市道の路標の一部廃止について

〃 第六議案第八号 市有土地の貸付について

同接ナレ議案ナラモ 那小松校講堂修繕その他工事の請負契約
接納スル

シ 六八 議案ナラモ 市所用ミマーシー購入に付て

議案ナラモ 消防用水槽付ホコノ購入に付て

ク 九 議案ナラモ 船山市警署老年金奉創制定に付て

ク 一〇 議案ナラモ 船山市市役所創の一部を改正するに付て

ク 一一 議案ナラモ 船山市分租金奉創制定に付て

ク 一二 議案ナラモ 里見公房の復元資金積立金奉創制定に付て

ク 一三 議案ナラモ 昭和三十一年度国庫公計追加更正予算

ク 一四 議案ナラモ 昭和三十一年度一般会計追加更正予算

「本日のお議口付いた事件

議事日程に同じ

議長(石井不君) 本日、出席議員数二十九名。そのうち三回市議定例会

を附会いたします。

議長一石井 啓三(本定例会の議案説明のため田村市長、小出助役、
 宮戸総務課長、唐沢保健課長、吉田商工小産課長、真田収入役代理
 新井建設課長、高木農産統計課長、小谷秘書課長、羽山亭課
 長、長谷川福祉事務所長、黒瀬牧務所一課長、山口牧務所二課長、
 越路監査委員、会主手、工藤教育長、橋本庶務課長、なつ地田
 診療所事務長を追加いたします。
 以上の出席を認めましたので、会報告申し上げます。

議長(石井 啓三) ついで会議録署名委員の決意を介します。

お諮りいたします。従来の例によりまして議長、指名により決定する。
 ことに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（石井淳子）御異議なしと認めます。よって四番議員小沢光
義君、三十三番議員田中忠蔵君、以上の通り決定いたします。御
異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井淳子）御異議なしと認めます。よって決定いたしました。

○議長（石井淳子）なおこの際会期の決定を行います。本会創会の
会期につきましては、議会の運営の協議会の意見の通りに決定するに御
異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井淳子）御異議なしと認めます。よって会期は一日と決
定されました。この議案を配布いたします。

（書記議案配布）

○議長（石井淳子）議案の配布もこのようになりますか。議事します。

手許に配布の日程表により上程をいたします。

議長（石井 澤 君）日程第一報告第十一号、報告第十九号、報告
第二十号一読上げいたします。

（書 読 朗 讀）

報告第十一号 昭和三十一年度八月臨時出納検査報告

報告第十九号 昭和三十一年度九月臨時出納検査報告

報告第二十号 公益質屋検査報告

（嶋田 繁 君 登壇）

〇三五番（嶋田 繁 君）私から簡単に説明申し上げます。

昭和三十一年八月の臨時出納検査を執行いたしました。ここに書い
ておきます四人の方にあ立会をねがったわけでございます。十三日に執
行いたしました。その結果を御報告いたしますが、大体一般会計に
おきましてこの期間に入った額は収入簿の検査後がこの前に検

直したまいたのちに入つた額でございますが、一千百七十七万六千六百四十五円
こういった数字が入っております。これは大伴市税にあきまゝでございますが、主なるもの
は市民税にあきまゝと百七十万、固定資産税にあきまゝと八百七十七万、
たばこ消費税にあきまゝと百三十六万二千円とこれが主なる収入でございます。
税外の出入とりたしまゝは六百二十万三千九百十円、こういった数字にな
っておりますが、これは大伴にあきまゝと運輸収入の八十万円、土地賣却
代金、これは畑等の土地で失般命決議をねがりました区有財産の賣却
付になりました土地でございますが、これが大伴六十万入っております。
これは公営の企業および財産収入でありまゝと、使用料および手
お料にあきまゝとは養護費料にあきまゝと大伴六十三万八千円、
こういった数字が入っております。それから国庫文庫金にあきまゝとは
生活保護費は百五十二万一千四百三十三円こういった数字になります。
大伴主なるものの後の収入はこういったものであります。この最後の補に収入
未済額とござりますが、これが一億百五十六万二千二百七十九円、こういった数字

大は赤字になつておりますが、これは事實の赤字は本年度において
いわゆる昭和三十一年度において全部取上げの赤字であります。
従つてその後取上げる額がこんとあるはずでございますが、事業上の
常規になつてある額は五千八百六万一千円、これが常規になつて
あります。しかし、常規と一回に引落しをすれば、本年度のす清
額と前年度以前のいわゆる事實の常規額、この二つを合算した
けてみますと、本年度にあきまゝに前期が到来してまだ入らぬとい
ふものが大体二千四百万でございます。それから前年度以前のもの
の額が二千七百五十万、この二つを合算した額になります。
大体お入にあきまゝにしては、この年度にいたつてあきまゝに支出にお
きまゝでは、この表によつて御覧のようになります。ただ、これは雑部金
繰入分という言ひ方がございますが、これは雑部金を繰りこめて一般
会計に入れた分でございます。これはこの月の即時に可なり
たしまして正統に復してありますので、今から御報告申し上げます。

ます。しかしこれを郵政のきつであるもの、きつであるはずのないもの、
こういふ率を出してみますと一八・三パーセント、こういふパーセンテージが
出ます。これを昨年と比較してみますと、昨年は市民税におきまして
一六パーセント入っております。今年は一〇・三パーセントと、こういふ大きな
つちがりますので、昨年に對して市民税の取上げ方がずっと落ちてお
ります。固定資産税にありては三三・六パーセント収入であります。
これは昨年の一八・三パーセントというものに比較しますと、大変収入方が多
かっております。こういふふうな状況でございます。これを御報告の申
上げておきたいと思ひます。

それから支出の方の六年に申上げてまいりましたが、これも資金計画と、この
うなものを立てまして、この資金を支出と非常に慎重にやっております。
このことは誠に結構なところであると思ひます。この資金計画と、

一般会計は異なりますが、この特別会計に於きましては、公営の国と
国民健康保険、これは別にやります。この表によつて、ひとつ御覧を。

がいたと思います。また、この中に申上げておきたいのは、この
会計の国民健康保険の裏をひいておいていただくと、この現年
度分、いわゆる本収額が書いてござります。そして、最初の現年度分と
書いてありますのは、これは現年度におきまして、この本収の額でございます。
それから、前年度以前の繰越額は、繰越控除分として、この繰越
が出ておりますから、それだけの繰越額といたしまして、これはよ
くていい、御覧をわがし、いいないです。以上によりまして、八月の
出納検査の御報告は、終ることになります。

つぎは昭和三十三年の九月の創月検査を御報告申し上げます。

その後におきまして、一般会計から行きますが、市税におきましては一千
六百二十万七千余というものが入っております。大体主なるものを申
上げますと、市税税にありまして三百九十四万二千円、それから固定資産
税におきまして八百五十七万八千円、それから市税税におきまして、四百
四十、電気が市税にありまして四十万八千円、入っております。これが大体

才入の主なるものであります。それから税外才入にあきまゝては地方交付税がこの期間にあきまゝて八百九十万円入つてあります。あとは使用料、手数料、その他ものでござりますが、手数料にのみまゝて四十八、収入証紙収入にあきまゝては六千二百四十、国庫支出金におきまゝてこれは生活保護費の給付金でございますが百五十万、大分なるものはとなくござります。これもパーセントでござる御報告申上げつゝおきなりと思ひますが、この八月にたりまゝては普通税のうち市民税はどのくらいに入つてあるかとみますと、三十二年度におきまゝて八月末までに三三・一パーセントに入つてあります。固定資産税にあきまゝては三三・一パーセントに入つてあります。この昨年の八月には税にいたします。昨年は市民税にあきまゝて一八・九パーセント、固定資産税にあきまゝて二七・九パーセントとござるパーセンテージが出てあります。八月にたりつてはこの入率が一番第一に上りて行くのである。昨年はおきまゝに結果が生じてきて

あります。なおこれにいままゝでは一般の監査の方でも申上げよう極
力に入社するのはよくなることを推進してあるような気がする。とあります。
それから不出のうちにいままゝではこれもしぎのペーシにお字は出て
あります。が、このまゝなるものを申上げますと土木費におきまゝと輸
送費、修築土木工事費、税金、これが五十一万の出てゐる。館山土木の校
舎土木工事とあります。が、これは三回にわたつてあります。が、これで
支拂いは終つたわけがあります。が、これが百六十万三千の出てゐる。
それから社会および労働費、この生活費、養育費と一と二と
三と四と五と六と出てゐる。なお産業費、労働費に於いて土木改良事業
補助金、これは神奈と市営の道路とある。とある。とある。とある。とある。
が大抵二十四万九千、五十五万の出てゐる。それから公債費に
あつて、大蔵省の長期債、それが元金償還金が三十万三千のな
まの出てゐる。それから、一中、二中、三中の事業費、新築の事業費で
すが、これが七十一万の出てゐる。それから、土木改良土木の建設費、

立金、元が五百万ばかり出てあります。これが大伴の支出の主なるものであります。なあの詳細にあきまゝとばかりはまた御覽向があればお答に申上げますが、大体この支出の一覽表によつて御了承をわがしうと書いてあります。

つぎの特別会計の公益質屋、国鉄、東京、大阪、三つをまゝにこの表によつて御覧ねがひたい、先ほど申上げました通り、この増減の額、いろいろ、これは額、今年度の未収繰、および前年度以前の前払額、といふものはこの一番最後の欄に記載してござります、それからこれは、つて繰る所をあらわがいてござります。

さうなことでございまして詳しく申し上げますと、現年度の未収、この最後
の年の現年度未収がおりますが、この現年度未済のうち定期
が到来してまだ取らないものが百三十九万三千円あります。それから
定期未到来のものが一千五百七十三万二千八百円、こういった数字にな
っております。それからございまして、計上ーなりと思っておりますが、

さうきとつと譲渡の金も知れませんが、七月の現在で市債税の入ったパーセント
は一〇・三パーセントでございます。ところが三十二年年度のものと比べると一ま
すと三十二年度は一六パーセント入っております。本年二度は一〇・三パーセント
でございます。固定資産税は本年年度の七月末にあきまゝ一〇・三
六パーセント、前年二年度にあきまゝ一〇・一三パーセント、この間のパーセントに
をがへてあります。これはさうきにい譲渡のためかも知れませんが、もし市債税
一であられる方は御訂正ねがりなうと思ひます。

もうひとつ公益財団の屋敷の買取りでございますけれども、これはここに請
け書いたことをいふにござりますから、これはよつとひとつ、御了事をおね
がひなう。ただこれもさうやうであります事業のひとつでありますから
最後にとつて今回は、御借入の金も、財産目録も、御計算等書も、こ
ういふものをついてしまふので、これも御参考まで、に御覧ねがりなう
でございます。以上でもさうと報告を終ります。

○議事上の井澤君も（井澤君）にたいして御質問をいたしますか。

○三番（伊勢仙之助）も（常務）額にのりてしまつてお尋ね一たいんですが、
調定額にのりての二十四万、これはよむと得なりと夫があると思ひますが、
前年度以前の二十で百八十万といふなかに、常務の常務者、あな
くとも三十万とか五十万といふといふ、な常務者はといふ、事業
主であるか、また個人といふはもちろんです、といふものはなして思ひま
すが、以前にはが入会せとかといふあり、あーたんですが、
といふ、高額の常務者はといふ、人にちがなされてありますか、
支拂に能力があつて、支拂に事業主であるかどうか、といふ、
是といふ、常務者といふ、事業主の、前といふ、ものを、用ひて
に、可なりといふと思ひます。

といふ、さういふ、といふ、木に、常務の、可なり、といふ、

あと公益費、屋、関係の入れの、やぶですが、入れする、と、そ、に、非、常、に
は、り、額、と、さ、う、い、ふ、さ、う、い、ふ、あ、り、ま、す、が、そ、の、業、者、が、い、く、ど、
入、れ、に、な、い、ま、す、か、な、お、東、主、と、か、千、葉、と、か、の、業、者、が、ま、つ、な、ん、て

るものか、さういふ点について監査委員にも意見を述べたものの答へで
すが、その点をひとつ詳細説明していただきたりと思ひます。以上ご大
會おつたします。

。此後が二課長（山口実君）三審議のそのの箇段についてお話を申し上げます。
館山市の高等運輸執着者は大体大企業法の法人でござります。申上げ
ますと、館山市の事務所、これだけは最近内容もよくなりまして毎月
二十万か三十万くらいの契約によりまして、運輸執着を納入してあります。
これは本年度限りにおいて、現年度免納という條で入ると思ひます。
そのほか国債執着もござります。ところが、館山市の運輸執着、これは全部改
府資金で運営されてゐる。国債上（「大まか」でわがいます）と
呼ぶ者あり（館山市の運輸執着会でございますが、事業の免納が思わ
しくなくて現行のころ運輸執着が買入られてゐる。現行でござります。と
つぎに館山市の事務所、これは館山市の所管権に入つてあります。如か
りた（まう）てもほとんど市税の分はなし現行でござります。

以上の三件は倉庫市の主要な業務であると思ふが、以上三件は、
○三番（伊勢仙三助君）金額のむとひとつ、どのくらいの手配があるか。
それが抜けたりしないようだが、どのくらいの手配があるかと思ふ。
○我務（山口実君）金額の美については後日申上げます。
○三番（伊勢仙三助君）わかりませんが、細かに数字をいふことも大体
何十万円見当で結構とございますが、

○我務（山口実君）この三件については「我務係」として
我務に就するものでござりまするの直接……（わかりましたと）
承る（あり）

○倉庫市（羽山房雄君）公益質屋の流通物の処分についてお
答をいたします。

物は三回流通物の処分をいたしました。第一回は、倉庫市の
と前の議事におきまして一般に入れをさせたいとござりまする。
その業者もこのなかに入つてやつたんでござりまするが、いろいろ品物だけ

賣れ、ほとんど残ったものがあります。そんな関係から一ヶ月、
オニ回目はどの残った分とその後に出た新貨物をもとめまして
千株の公債買戻の借上を借りまして千株にあらって千株の買戻
の三業者と松戸市から一業者、四人の入れをいたしました。全部これ
を処分いたしました。ところがその後地元の業者からの申込みによ
りまして、この地元の方でも全部処分がきくから、この業者
に買けなだけの自信を持つて、から地元にも入れさせてくれと、
こつこつ要望がござります。オニ回目とヤニ業者がござるこの
公債の部屋を借りましてやつたんであります。この地元の業者
びた業者参りまして、一ヶ月とせつたんであります。以上のようない
状態がござります。

オニ回目は、田繁君（ちやうと前）とあきらかに思いますが、先ほ
どの報告が純粋の希釈と申しますか、一月分を申上げなれと思いま
すが、これは申上げておいた方がなにかしらの参事にならうと思ひます。

七月は申上げまいが、八月の滞報となつてゐる額が、今八百五十万
九千、三十三萬七千五百字になつてあります。これが滞報額でございます。
これを現年度分の期満がきて本収の方が、大伴一千四百六十万、
それから前年度以前のものが、二十六萬七千七百、大伴これは四月と
ほぼ同じやうな額です。とあります。と云ふ、この本収の方がいく分
少なくなつてゐると思つてゐます。

の義理（石井 謙三）が、この滞報の額をどうしてせんか。

〇二三番（福岡 佐徳君）が、教育費にありて、餘山小学校は全額支拂いが
済んでありますが、この前大分県に成りまゝと直ぐと違つてゐる。
契約通りにはしてゐるが、この前大分県に成りまゝと直ぐと違つてゐる。
なければ、向もなつて、この前大分県に成りまゝと直ぐと違つてゐる。
この前大分県に成りまゝと直ぐと違つてゐる。
通りに実行をせよと思つてゐるが、この前大分県に成りまゝと直ぐと違つてゐる。
の義理（石井 謙三）が、この滞報の額をどうしてせんか。

まーでは大まか過ぎるをみけまーだが、その後議事など所々いかに
設計通りといふ様になり、命いもーの時の状態の所々も
是ういかにまー、すまーでは、思ふなきの所なりか、
これを下がまーの設計通りロータリとあります、其時の所々も
一には、鉄の所なりか、をみけて、鉄の所に入り、その所なり
ります、これは、その所なり、思ふなきの所なり、
思ひます。

○議長(石井 洋子) 他に御質問ございませんか。

○三番(福田 信子) 契約期間と、その期間の所々について、
たいへん思ひます。

○教養部長(橋本 信子) はい、その契約期間は、その所々なり
てあり、たが、設計のやり、その所々なり、その所々なり、
出て参りまー、と、その所々なり、その所々なり、
その所々なり、その所々なり、その所々なり、

すが、その英についての教育長のお考えをお聞きたいと思ひます。

。教務庶務課長（鶴沢登覚君）誠にお申す通りでございます。

その機軸のこころはふじふじとたんでこころおーおーか

二三番(福岡保通君)向邊よりたふせ西へんに訂正していふ人々

とたつて工事の讀負はつりて建設課の方との連絡をとつておるに

女なりかといふような話でした。安西さん（「ええござす」と呼ぶ者あり）

○教育施設課長(舊天母貫寛君)工事の契約につきまゝ之は、(数育長

に「南さんだよ」と呼ぶ者もり）

○教育長（工藤和平君）はたいまの御覽向につきまゝは「応教育委員

会としても協議をいかにしようとありますが、その場合の録は

教育委員会が市長からゆだねられ、下件であるのであくまで責任

をもつて教育委員をやるがいとこつて探が出来ますので、

[illegible]

○二番(高橋文治君)をいふ二十三番から三校の工事期間のふたには

[illegible]

オ三番目には館山市内の中学校もつてこのなり世の校は九重一校に
 三つと想います。それには昨年度もふき替へる際にあつたといふこと
 取つていふと、そのまゝになつて現在まゐつて、本年いふ替へる際もこ
 はまゐつたといふが、あつたはなつた、たゞそのいふのいふトタをそつてを失はけ
 だけ三十二年までに改築するといふ所まではなつたといふこと
 すが、三十二年までに改築するといふ所まではなつたといふこと
 いふてあります。改築した後も非改築の場合もつてあります。改築し
 ないといふたのもありますが、すでに二十年にもなんなくつてあります。
 非改築をしますといふ、委員会の所では、いふといふトタを替へて、これを
 修理をするといふたもの、P-T-Aで修理したんですが、新卒の校舎
 いかゞきまされて、いふの半か、かひの半か、いふたになつてあります。

委員会の所では、館山の保育園が幼稚園のふりトタを、あつたに
 なつたといふといふトタで修理するといふてあります。なつたといふ
 いふも、校舎があつて、校舎のふりトタで使つたといふもの、その九割は、替へたといふ

神皇正統記の御代は、
 神皇正統記の御代は、

神皇正統記の御代は、
 神皇正統記の御代は、

神皇正統記の御代は、
 神皇正統記の御代は、

神皇正統記の御代は、
 神皇正統記の御代は、

神皇正統記の御代は、
 神皇正統記の御代は、

神皇正統記の御代は、
 神皇正統記の御代は、

神皇正統記の御代は、
 神皇正統記の御代は、

神皇正統記の御代は、
 神皇正統記の御代は、

いままで通りに全然委員会の用かなりでやるといふような考え方に於てはかななりから、決められているからとていつお考えになりますものか。新しい公平委員会の運営についてはどんなものように考えておりますか。その巨大を市長さんから承りたいと思ひます。

○市長(田村利男君) 公平委員会の運営についてはまゝではいままで案件といいますが、事件がありませんで開催した事なかつたわけでございますが、しかしこれもいろいろならば公平委員会の採上げべき案件でありながら公平委員会が不便のため公平委員会自身として採上げなければいけないものも採上げなかつたかも知れなかりやもあると思ひます。いろいろなわけもございまして、三三の人は注意をしておられますが、公平委員会そのものの会合もないのでいろいろの案件がなくともいろいろな研究会あるいは研修会といふようなものを持つてよいと公平委員会に御注意をいただいと、いろいろ考えをもちつていただくべしと思ひます。

圧力も加えていらいやなにかと考へてあるんですが、折角へつてある期である
ですから、この陣営の政策をきいていただきたいと思います。（「黒い議案」といふ
が音あり）

○議長（石井淳君）御田中議案の件でございますか。

（「黒い議案」といふ音あり）

○議長（石井淳君）御田中議案の件でございます。よつて本議事は暫時休会
決定いたします。

○議長（石井淳君）つづいて御田中三議案の件でございます。

（書記朗読）

議案ハ六号 監査委員の選任につきて

の市長（田村利男君）監査委員の選任でございますが、いままで
は二年任期がございまして、岡武夫君は三期大任間やっております。
この任期満了になりましたので、是が非でも辞めさせてもらいたいくらい

たつての申出があつたわけでございます。しかしながら、奥武夫君は前市長以来ずっと公平無私な立派な監査委員として市議会にも公平な人として定評をなつておりますので、私も今回とくは新しい規則によりまして任期三年となるわけでございますが、再選をおねがいし推薦したわけでございますので、よく申上げようと思つております。「異議なし」と呼ぶ者あり。

○議長（石井清三郎）御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井清三郎）御異議なかと認めます。よつて本会も東京市通り決定いたします。

（書記朗読）

○議長（石井清三郎）このことでは議案を採決いたします。

議案を採決するに附する。この案の採決に附して。

○お事(田村利男君)教育委員に就いておやかい申上げます。

神作敏男君は昨年教育委員の四人のうち、つじによりまゝ一年委員となつたわけでございますが、人格、識見ともに立派な方でございますので、さらに四年間の任期を再任、推選いたしたわけでございます。

○議長(石井澤君)御異議ございませんか。
「異議なし」と呼ぶ者あり

○議長(石井澤君)御異議なしと認めます。よつて本案は本案通り決定いたしました。

○議長(石井澤君)つづいて日程第五議案、オハハ子を上程いたします。
(書記朗読)

議案オハハ子市道の路保一部廃止について。

○建設課長(新井重助君)議案オハハ子について御説明申し上げます。

船形の別紙の図面を御覧になっていただけます。船形の組合事務所か

ら海岸道路が二層メートルに、船形メートルの道路がございました。それを又

してします。本築の二層二十ハチ線より一部二坪ニ合が空地となつて有効
に使用せんのが、これを廃止して、右に思ひます。以上でございます。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（石井 澤子）御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（石井 澤子）御異議なしと認めます。よつて本築は、本築
通り決定いたしました。

議長（石井 澤子）つづいて日程が六議案が十九号まであります。

議案が八号、市有土地の貸付について。

。後援課長（見戸 貴君）十九号について御説明を申し上げます。

字長尾の六百十七番の一角が三地区、これは保地杯でございますが、

大体の位置は現在房南中学校があります。あの下の海岸に位なところであ
ります。これはまた敷地が広いもので、今海に面して種々な建物や土地と
して利用されています。これは、現在では、防波堤や防風林として
利用されています。

警察庁では、無秩序な施設を設置するためには、近郊の土地を新
築して利用する必要があります。この種に付の土地が、一番好条件の土地であ
るといふ結論を得たところであり、建設予定地として借用したいという
申出がございまして、市におきましては、果して保安林をといてつものに使
うことになるか、一応東京市の林司長に對して、従前の変更許可申請を
出したのでございしますが、使ってもいいというので、八月三十日付で許可が
ございまして、市におきましては、警察庁の通令を強化して土地の利
用について見地から、~~新築~~の通りを設けしようにすることを願っています。
〇三番の場、田保徳君（長）の無償で一千五百坪という土地を貸すんで
すが、いまだ附近の田畑が、たくさんあるんですが、一応住民の意向のようか

ものをお聞きたいと思ひますが、

○松本課長（見方 貴君）同土地は大体用お地の倉庫中だといふまい
 付近の住民等におきましても支障がなるといふうに聞かれています。
 それで施設といふまいとは、電信所と庁舎はみ三棟あるが、
 そのほかはいわゆるアパテナの鉄塔ですが、どういつものを建てるん
 といふまい。建設勘定といふのは九月から十二月までの間は、地上を
 使つていつていつていふまい。

○三三番（坂田保造君）支障が聞かるといふのは、まあ付近
 の住民に對しては一向に相談したこともなければ、どういつの意見も聞か
 ないかと判断してゐるに過ぎないですか。

○松本課長（見方 貴君）農産統計課の係におきましても、付近の住民
 の意向も調査した（ま）支障ないといふことにはなつてあります。

○三三番（坂田保造君）年々林を伐つてゐるに過ぎないですか。

○松本課長（見方 貴君）そこは、林を伐つて、新築に用ゐるのといふので、

まして無線機の目的をいふ無線施設に変更するといふ許可がな
ざりまゝ一万のび差支をいふなりません。「もつてわづらひ」をいふ
もやふかな」と呼ぶ者あり（電報の変更の許可をいふにすぎず）
無線機の二つに無線施設の敷地として使うといふ電報の変更の許可
をいふます。（許可がなからず呼ぶ者あり）また支をいふこと「許可
の書を書けて下さう」と呼ぶ者あり（たゞしは取降をします）（「續
行」の下に「と呼ぶ者あり」）

の三番（伊勢山三郎君）無線中絶所は大卒といふので施設をいふ
このよりいふませんか。

の総務課長（見戸貴君）これはまだ具体的な打合せがありませんが、
建設の条件としていふことは付近に電気の雑音が少ないことと、
半徑五キロ以内に出カ五キロ以上の無線局がないこと、それから下
半徑三キロ以内大型電気の施設がないこと、変電所とかあるといふ下
上場をいふものがないこと、飛行場やその他の射撃場がないこと、周辺

に特別の注意がなつて前面の方が海に開放されてゐる。この
周縁が適当なところなので、出力とか専門的なことはあつたが、
せい

○議長（石井 津男）（しばらく休憩いたします。資料の到着するのを

午前十一時三十分 休憩

午前十一時三十分 申議

の議長（石井 津男）（休憩前に引續いて会議を行います。ただいま

資料が到着いたしました。

○議長（石井 津男）（保安林の経営の計画変更許可申請を七月
の二四日に提出してあります。これは、昭和三十一年の八月三十四

日、保安林部長が、保安林の経営の計画変更許可申請を七月
の二四日に提出してあります。これは、昭和三十一年の八月三十四
日、保安林部長が、保安林の経営の計画変更許可申請を七月
の二四日に提出してあります。これは、昭和三十一年の八月三十四

日、保安林部長が、保安林の経営の計画変更許可申請を七月
の二四日に提出してあります。これは、昭和三十一年の八月三十四

これは林野整理による松下げ個所の経路の計画の変更について
題で表記の件について東京管林司長からの別紙の通り承認
通知があったから別紙通知書を送付する。以上でございます。

「このうちから申請した趣旨を讀まなまら」と呼びかけあり

農林大臣ハキ 保安林経営の計画変更許可申請書

昭和二十七年十月十六日付をもって国有林野整理臨時措置法施
行規則に基き松下げを認めました千葉県の館山市藤原字長尾
六百七番の一、六百七番の二、六百七番の三、および同字西京一千
四百六十八、同字保安林面積五反七畝半を經路の計画変更した
ことので、特別の知照議をもちて知許可下さるよう申請した
一です。

おまから東京管林司長に宛ててござります。この理由書として
しまゝでは、東京管林司長無視中、松所設置（？）に伴う無視施設および
片倉建設のため、これに対し正記案件を必要とします。他に

付るべき箇所がなりため、同箇所を選定

一条件

- 1 電気の雑音の極少のこと
- 2 半径五キロ以内は出力五十キロ以上の無銀るものなりこと
- 3 半径三キロ以内は大型電気の施設、発電所、大工場なりこと
- 4 付近に飛行場その他演習場なりこと
- 5 立地的に周辺に特別の富い山がなく、東武方に丘陵の山を背負い、南西方が用施する好条件地、或る。

二施設

- 1 変電所、片方は三棟約百坪、変信用無線施設アンテナその他
- 2 以上でござります

の議事(る井津君)本業に對して海軍提議がござんせんか

(「異議ない」と呼ぶ者あり)

の議事(る井津君)御異議ないで認めます。どうも本業は海軍と通じ

決定いたしました。

の議長も、きつておる（こつて）の程で、議案第九号を上げいたします。

（書記朗読）

議案第九号の予、那古んが、議案上修繕と、その工事請負契約の締結について。
。教務庶務課長（鶴沢寛君）（議案第九号）について御説明いたします。

九月の二十日に現在旅行中の業者を降参した九名の業者を指名いたしました。入札いたしました結果、田沢次郎さんが最低入札者であります。したがってこれと契約を結ばたいと思つております。

なおこの議案上の修繕内容は、九月十九日と、このデリスを七坪増築する
。一、設計図面になってあります。予算はこの追加決議をねがひました
。入札と、那古んが、校の屋根のふき替へ工事の予算とを合せまゝ
。一、まず契約を結んでからになります。以上でござります。（「馬鹿な議
。かしこ、呼ぶ音あり」

○議案（五）井澤（五）市街に於て道路を擴張せんか

（田中議長より平允答へり）

○議案（六）井澤（六）市街に於て道路を擴張せんか
（田中議長より平允答へり）

○議案（七）井澤（七）市街に於て道路を擴張せんか
（田中議長より平允答へり）

（書記朗読）

議案（八）市街に於て道路を擴張せんか

議案（九）市街に於て道路を擴張せんか

○議案（一〇）市街に於て道路を擴張せんか

（田中議長より平允答へり）

（田中議長より平允答へり）

八月二十七日付で市街自動車道路に於て購入に於てあります。

ニ行ふ申請してあるものでございますが、これが許可になりまして、
その審議でいろいろ検討の結果、シマシーについてはいしず、小樽市、
日本建設株式会社が製造のものが適当であるという結論を以て、
議會の協賛を得まして、両会社と購入契約を結ばれたいと考へます。
それで大分この完成期日はシマシーの納入が契約から一カ月以内、
の機材がシマシー納入になつてから二カ月以内、大分年内には完成する
ことが定めてございます。

ローナ社（機材社）（シマシーも、ポンプも購入先を決定して、
いしずが、本来であれば入れさすべくもんでありますが、このシマシーなり
ポンプなりが、いいということについて、御説明をいたします。

〇機材部長（定本）（シマシー）につきましては、現在いしずとかトシダ
とか優秀なメーカーがござります。それで、本市に置きましては、いしず
いしずを使つてありまして、機材に性能も優秀なことでござります。
す。シマシーは、シートにもくは、シートにいろいろござりますが、現在の

館山市の道路の周回からいまいてメートルメートルこれはメートルのミヤミヤがもっとも当市の道路状況には適してゐると認めまいてメートルメートルと考へます。それから馬力は国清認定の馬力馬力でございましてこれは現在の消防自動車とてはもっとも優秀なものでございします。

ポンプにつきましてはこれは目造とか、森田市長いさゝか優秀な馬力一がございしますが、高圧三段ローターポンプこれを専門に製作してゐるのみ日本造船だけでございします。これは大体二段ローター、注文によつては三段をつくるというのでございします。消防署といふとまいては三段ローターを適当と考へまいてこの専門の目造の機械でいふと三段と事の場合には遠距離へ送水するとか、あるいは高いところへ送水とか、そういう場合には二段よりもまゝつてあるといふことが立証されてあります。と、この目造のポンプにつきましては船舶の舷外、海軍金鴨川等でも使われております。また市におきましては二台入つてあります。

便所にも用事がござります。さうから日造の場合ですと工場が近くにな
りますので、朝も午の途中にあきまゝして、こゝからいつか監査をすゝめ
てきてみるし、あるいは設計書と違つた場合になつてゐるが、違つて
ゐるので変更される便所もござります。従来もさういふふうにはやゝ不便
ですが、さういふ関係で日造を指定してゐるところについては考へます。
(「なぐさ」は略に高くなつた」と呼ぶ者あり)

(一) 島崎壯作君(私の申した要てはよくいふものから脱却して) 本に
 があるならいかにしてその所をいかにするものか(愛するものを)
 にも致しやないか。 本に思ふて申していふことすむ。 かなたはもう
 指し示されもの。 一番は手たもていふこといふこといふこといふこと
 よういふすけでも。 かに愛するものがあつていふこといふこと
 なければならぬと決めていふこといふこといふこといふこと
 藝研究としていふ要するに本にの性態のいふこと。 自動車
 の性態のいふこと。 自動車
 の性態のいふこと。 自動車

[illegible]

○総務課長（以下）貴君（以下）今日日造の機軸を特別に選定するといふ理由は高圧（以下）なりまーた、なりまーたからいいですよ、「呼ぶ者あり」

○二三番（福岡）保徳君（九上）議案。九上は議案は私に所のため

に賛同いたしますが、さつき課長の答弁で既に二台買入することも具合がよかったです。多分この二台は那古と大野町の分団の自動車のことだと思いますが、聞くところによくて、どうするかの自動車の食費金ですが、補助金が打ちあがった大まかな図りになつてゐるという話も聞かれました。けれどもその實際を伺つたことを思います。

の総務課長(見) 戸長(見) 戸長(見) の二台は消防署のいすゞ一車と、いすゞが、いすゞに替り置(置)一車ものとトミダに替り置(置)一車とあります。消防署のホニでござります。それから大野町の分団のホニで購入にきまつたは、まだ予算を作成するときに全額地元から集めて入つて、借出でこれを置く場合に消防補助金が増えるといつて、許可したものでござります。しかも地元の意向としてローマ一車、全然自動車は動かない、この等車街に出入等がある場合、とても不安でいけなかつたので、なるべく購入を急ぎたいといつて、いすゞにきまつて、ホニにきまつては補助金をもらう場合に消防の

き計予算に計上いたしました四十万の補助金は遂にもとまらな
くなりまして以上です。

〇二三番(新岡保徳君) 何からの購入に必要なら文庫をきかすと思つて
すけど、たいが校生田議員がかならず補助金くれるんで購入するんだと
いふやつなことがつたと思ひますが、こないとする四十万は市が負担一な
ければいけななうと思ひますけど、その実はいかがですか。

〇助役(十出武男君) たいがの補助金があるやうなうたための四十万の
要するに才入減、これに對しては市が一応予算したものが入るな
かつたといふことは明かに申しわけなく考へますが、こも申しますやうに
消防のことでありますし、一応止むを得ずといふことが別にあります
てあります。そこで四十万の才入減をどうも削減するやうにこの
か減るわけですが、こども予算を取扱うものでして、こは新規財
源を求めなうで、なるべく消防費中の節約をあらうしてしまふて
この財源に持つて行くといふことに考へてあります。

いま申しますように才入減になったことは誠に申しわけないと思ひます。

かゝることを第一として考へてあります。

〇二三番（福岡洋行）と云ふものと助役さんの答弁ではちがひない消防費のつちからその四十万を捻出して支拂う。云々といふお金のやりとりですが、果して消防費のつちから四十万をとつたならば、消防の運用に重大なる支障があらうと思ふんです。その点をお伺ひいたします。

それから課長さんの答弁では消防で必要なので、お金が早く廻つたまやうになつていくつもの罪をこめて持つていってゐるようですが、市の方の事務上の手続が、悪くてこのまゝになつたのではなからうかと考へるんです。決して消防車を早く買ふべし、云々のために補助金がもつたかゝつたといふものなわけは間違つてゐるのではないかと思ひます。そのわけとちやんと手続をまづおぼえてやつたならば、このまゝの（間違）はなかつたと思ひますが、この点をよく伺ひたいからあつた。

〇四十八番（昭和）ただいまはなご市を代表する方々から、この金の使

办、

消防費のうちから全部出すとはつまり中上階位ではなくて……

一、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。
 二、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。
 三、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。
 四、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。
 五、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。
 六、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。
 七、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。
 八、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。
 九、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。
 十、このたびは、お礼の状を、お送りいただき、誠にありがとうございます。

(二) 五五五

は地元民として非常に感謝しております。

明なかり方々と思ひます。

ふつに手替きと海ぬみすかんとはこまへたむ。た元の集り等が

と所費は少いのはおたぐいさして

三番（伊勢山と馬場）よりしますと市のそばは七の車を借りていって
全然タチーないといふうに解決しようといふですわ

〇三番（伊勢山と馬場）市のそばにしましうは補助が決定するまで待つて
もういかにいかにいかにおたぐいさしていりますが、これはたかたか申し
まうらう市の状況では待つてないといふのでいかに事務的な関係と
おたぐいさして……

〇三番（伊勢山と馬場）私は非常に重大な問題だと思ひまへて、とにかく
四十万の損失といふ大きな問題が出てくるわけなんです、市防団
と市との関係になります、市防団が失礼して市の承認を得ないと
勝手に行動したといふことになる、市防団が責任を持つ
といふ事は、市防団と市との関係と考へるのではありません、その大
きな問題もいふとありますが、市防団と市の関係がいつり
行かないで、いかに問題が出てくるかと思ひますが、補助金もあつて

わけにも参りましたので、オ入の収入未済のまま補助金を収めずか出したのでござります。これは二百十萬の購入費でございまして、たが、そういう購入費で二分の一の百万だけを市から補助したものでござります。

それからこんどの問題でござりますが、これはすでに国家検定にあきまゝて、館山市にこの消防ポンプは行くというふうにも登録してござりますので、いまさらこれを借りてもらいたいというふうにもいえません。

なお補助金がこないからこのポンプも返すというわけにも参りませんし、實際問題としてはある程度實際の火災にも出勤してありますので、この補助金を入手するためにはこの自動車もいまさら返すというわけにも参らないのでござります。結局四テウはポンプを先に買つてしまったために当初計画した通り入らなれて、こつこつ結果木になりまして、いかにも申しわけございせんが、実情がその通りでござりますので、何分の何の承をおねがいしたいと思ひます。

○二三番（福岡将徳君）いまの総務課長さんのお答は馬鹿に分田

が悪うなっていますけれども、私の考えでは、この同連は市の事務手達からこういうふうになったと判断しますが、この責を一応はつきりしていただきしたいと思います。はっきり分国の責任であるということか、いえるかどうか。

○総務課長（見戸 貴君）これは分国の井方的な責任であるとは申せないのでござります。たまたま両方のいさな関係からこういう結果になったので、その事務的な悪い責もごんじまいです。また分国の指示通りにはやらなかつた、という責も今回の分国となつては、ものゝと考へております。

○二三番（福岡保徳君）どのような事実であるならば先ほどの分国の責任だ、ということは取消してもねがひたいと思ひます。

○総務課長（見戸 貴君）私は先ほど分国の責任であるとは申さなくて、分国がこういうふうな手續まで仕事を進めた、こういうふうは申しまして分国だけの責任とは申さなかつたつもりでござります。

[illegible][illegible]

市一鈴木孝春（いさごう）海軍見が、出まいたが、六野町の清河の晴人の
 件ですが、先ほど十ヶ条の議案が、非常に誤解を起してしまふか、さう
 いふ点のものは、（「さういふ海軍」）誤解を起さぬやうにと、早
 んずるあり（）おぼたが、誤解がなく、所創におかか、おいたよるに思われ
 ます。さういふのは、誤文とさういふ誤解、一頁ものがある。こ
 れは力づくで固まらして、さういふ誤解を、さうから借りて使つて
 ころかと、さうすれば、補助金が、さういふところのな、お話ししたか
 ら、これは、實際、借りて使つておいたならば、補助金が、さういふところと、思つてあり

完平さんの説明を聞くと、さすがいい、さすがいいという、さすがの外交を
 やる、みたくなことをいってですが、送付国の一方は市県警察自動車から
 押入した（「ごんは送付者市県警察はいい、ん、ミヤギーはさすがなんだ」と
 叫ぶ者あり）という者、でもこの講義は、そのことだ。

まいとう市長さんへ伺いますが、
 市長さんの御答へは一般の民衆から
 寄附をもらつてこれを市でもつて購入するんだと
 市に責任があるんだ
 といふふうに考へられたんですが、
 その場合にしままで一般の消防がこつは
 購入されて一度も議案に載つたことがない。
 一般の人が寄附して市が買つ
 となれば当然議案に大軒町の自動車
 が載るべきが至当と解釈してしま
 すが、この責をなすこととお伺いして思ひます。

○後務課長（見方 貴君）「たゞは議案として出ています九上と、二上は消防署で購入しようとする自動車ですが、議案が二上になつてあります。やはりゆる消防自動車の車体ですが、車体とエンジンが違ります。これは二上に出込んであります。」

六軒町の満所自動車購入にしまゝ。満所には可成りありませう。よ
そは補助金もばたいてしまふ。お金の出入りもよく、満所とて出てた
りてゐる。いふに、お金の出入りもよく、満所とて出てた
行へてしまふ。いふに、お金の出入りもよく、満所とて出てた
ません。

○七軒町の満所自動車購入にしまゝ。満所には可成りありませう。よ
そは補助金もばたいてしまふ。お金の出入りもよく、満所とて出てた
りてゐる。いふに、お金の出入りもよく、満所とて出てた
行へてしまふ。いふに、お金の出入りもよく、満所とて出てた
ません。

にまつ

OMEGA (田中 昭雄) は、かねてからの説明によつて補助金をもらつて居るが、その理由で、一歩いながら大野町の地位となる補助金がもらふなら、みづ大野町が居る方が補助金に値するが、大井町が、りき一に、この補助金を均等に配ることも、やはり大きな負担になるが、この補助金は、この町に配るべき、かゝる人々を、入札のやりとりを、この町にまつ。

OMEGA (田中 昭雄) は、かねてからの説明によつて補助金をもらつて居るが、その理由で、一歩いながら大野町の地位となる補助金がもらふなら、みづ大野町が居る方が補助金に値するが、大井町が、りき一に、この補助金を均等に配ることも、やはり大きな負担になるが、この補助金は、この町に配るべき、かゝる人々を、入札のやりとりを、この町にまつ。

OMEGA (田中 昭雄) は、かねてからの説明によつて補助金をもらつて居るが、その理由で、一歩いながら大野町の地位となる補助金がもらふなら、みづ大野町が居る方が補助金に値するが、大井町が、りき一に、この補助金を均等に配ることも、やはり大きな負担になるが、この補助金は、この町に配るべき、かゝる人々を、入札のやりとりを、この町にまつ。

き会議を申します。

議事(る井 博 君)の報告九議案のうち三案を上げました。

(書記朗読)

議事案の三号 錦州市養老年金条例制定について。

の平君(田村利男君)養老年金について簡単に説明いたします。

国家社会保障制度の一端として養老年金制度といふものが考えられておりますが、千華里市におきまゝでは六十以上のものを対象として取り扱つたようではございますが、錦州市におきまゝでは三十三歳から研究したしまゝの結果、現在のところな状態におきまゝで六十才を基準として以下条例のほうにわたつた案をいつた方針で進んでいます。日本全国を三つの部におきまゝ、現在三江市施行されていゝものがございますが、錦州市もこれには定するべく三十三歳の三十三歳以上あるかとあります。詳しくは所長が報告する御説明申し上げます。

全額美にびる。ニンニクにひくま。

お母様がご自分の国にいます。本人あるいは同様の親族。

お母様の親族から申請によりお母様の家族が滞在する。ニンニク

とひくま。

お母様の親書の国にいます。年金証書といふものも二応交

付とする。ニンニクにひくま。

お母様がご自分の喪失ひくま。死にたとき、あるいはお外

に住居を移したとき、お母様の口にお母様の年金の付が適当ひな

と認められたら年金を支給する。ニンニクにひくま。三の

お母様の親書に現在も滞在するものは犯罪等により、監獄に入

つていないか。お母様の親書に滞在する。

お母様の親書の親書に滞在する。お母様の親書に滞在する。お母

様の親書に滞在する。ニンニクにひくま。

お母様の親書の親書に滞在する。お母様の親書に滞在する。お母

といふことは作成をいたしたわけでございますが、あきしむに参考資料としてこの条例が御審議を辱けたときに交付する。規則の案として差上げさせていただきます。このなかで九月の十五日といふところは「日」を「月」に改めます。九月の十五日は年暮りの日といふことになっております。この日を中心として考へてあります。たまたまこの日は火曜の日でありますので、一応条例には火曜日の定めを日といふことに決まらしたわけでございます。

大卒は死したとき、年金と遺族に差上げるといふことになっております。二項の遺族の範囲は市の職員、退職手当に用する年制十二卒の規定を準用してそのなかの生計同一者を最終位として差上げます。

十二卒の規定と申しますのは死した場合は配偶者、子、父母、祖父母、この順に退職金と差上げるといふことは現行法令に於てあります。そのこの規定を準用してそのなかで「孫」に生計を計るものがあったものに差上げる。いふ規定をのぞくものとします。

オナホが年々に対応する制限がござります。が、一応こういつことが予想
されますので、考え方もござります。

十二等は規則を定めて、拓政手文として考へてあります。なお現在千
二華中が実施してありますのは千二華中の自体で年令九十才以上満て
るでございます。これに対して一千五百円と本年予算措置の中で差上げる。
市では金子が年令八十歳で三千円、千二華船橋が今千九百才以上に
対して千二華が一千万、船橋が一千万円、という規定があります。
現在までわかっております状況は成田、本更津、松戸が現在計画
中ということでございます。本市にこれが適用されることになると約
八人の方に一千二百円を差上げる予定になっております。この間でも
ございますが説明をいたします。

〇七番 嶋倉北作君 善老年 金を一向にあつて交をせんとくこととは誠に
 結構なことであると考へます。一かしながら金にちして書の美といふ
 言葉があります。それに匹敵するんいやなりかと考へます。

二三箇のうすだにと思ひます。

まずオーストラリアの町々まで住まなひには支給しないという規定を
ごうごう標準で認むるべきだに思ひます。

それから四月一日現在でといふのはどのよきな趣意からといふこと
になったかといふことはよくお尋ねします。それから六十六才から七十九才
の程度、二十五年間になった問題。その四つについてもう一度詳しく御説
明をゆかりたいと思ひます。

○福祉事務局長（長谷川氏）お答申上げます。最初の居住の五カ年
といふことではございますが、これは老人の生活保障といふよりもむしろ敬
老の意を表するといふことで重きを置いておきますので、徳山市には
らく住んでいただく。このうごかすがいよいよなにかと考まゝといふ
各市の事情もさまざまでございますが、現在のところ居住に制限
を設けておりますのが、たゞもて調査してまいらば二十一年市のつち五年
の居住期間が六十年が二、あと三年、二年といふことになりますか。

大正五カ年居建が多いといふことでござりますので、私も一応五年
といふ基準を一つにわけてござります。

それから四月一日と申しますのは、説明のとき、なまじと断したと思ひ
ますが、御参考を併せてあります。規則の案に附付の期間一カ年といふ
ことで大正五までありますので、四月一日で入十六才になつた方、さう申
上げたわけでございます。毎金の入十六でござりますが、これも調査の結
果を申上げますと、九段階にやゝなつてありまして、二十一市のうち十八才
を採りますのが十、入十六か一、入十二が四、入一が五市あるわけござ
ります。私も、私どもの考へ方として、半寿の現に差上げたとするか、さうい
ふことで満ハ十六才と、さういふ考へを採つたわけでございます。

「入十二」はつきまゝでは、これはさういふ御意見もあると思つてますが、
大体自主的な条例でござりますので、その市の財政事情等を考へなければ
ないわけないといふことにはなりますので、さういふことも調査をしてまいらば、

これは現在支給が十二段階にやゝなつてありまして、最低十では大正四から

五ヶ月前までありますが大伴邦雄の市では十二日四が満ちると考へて
計画したわけではないです。以上でよろしくおねがひます。

〇七番(馬場井原君)四月一日とこのを標準としていふことは敬老
の意を加味したといふようなお言葉を述べたと思ひますが、敬老といふ意味
を加味すれば八十大才になるときからくても敬老の意味があると思つ
てあります。四月一日になければならぬといふことで、よくよくひつりな
にそまらばつてそれが五ヶ年住まなければならぬといふことではな
い。敬老といふ意味に背きやうなりが、この考へるものであります。五ヶ年
継続してつるから敬老といふ意味になる。五ヶ年住らなければ敬老とい
ふ意味がないのか。こつこつ問題になるとして御説明の趣意が伝へな
つてくるのではないかと思ひます。例へば市会を例へば市会を例へば市会を
五ヶ年もつたりつぱなしにしてあげずにあつてはならぬ。市会が口に入る
と五ヶ年住といふ嚴重がカサと誤解するといふやうなことはよく考へ
えます。どういふ大に上つて市会で判方線が出たときにはもちろ
ん。

ありまして、うと思ひますが、あまり固執なさらないで、おひめるだけのなにを、持ってお出でになるかと、いふことは、いりてお伺ひします。

の市長、田村利男君、五年の制限でございますが、敬老といふ意味と、大伴館山市に居住しまして、館山市へ盡したといふ意味といふものを兼ねますと、やはりそこは、所定といふものの必要を生じてくるかと思ひ、まして五年の制限をつけたいわけでございます。しかしながら、市といふところは、一々二箇年の金とて、~~毎年~~年度にあきまして、でございますから、おさらに、施設者たちといふ希望も持っております。あくまで五年も固執するものは、ありませんので、いづうか、お聞きの上、御意見のいかに従ふたいと思ひます。

の福祉事務所長、長谷川内治君、四月一日と申し上げたのは、支給の基準と申しますか、上げざるもの、いりては、ハナズキになつたときから、上げると、いふことは、考へております。

〇二二(第四)福岡保健連君、養老年金を、いふことは、非難があるといふことは、

の、お父様の自筆から申請したい。お父様のものが申請するところなんです。
もういざうく思うので、こちらから調査してあげるのは、いざうあげよう
に条例を改めていなければいけないと思います。

○市長（田村利男君）条例はこの通りですが、実際はこれから調査しな
いものを通知するところ、建前をこのようにしますが、各県の条例、
なごびに各県の条例に準拠していますか、どういふものに従うまいと
条例はこの通りでも実際はこれからで、事務所の二つを調べる呼出しを
かけておいて、いかにするつもりでござります。

○三番（伊勢仙三助君）私は敬老年金を市でつくってあげたことは、本日は敬老
年金といっていますが、実際は敬老年金です。からいといっている言葉に
ちよつとひびきますけど、大変結構なこと、期間の問題などについて
多少お意見もあるようですが、やはり一回とてはこの制度、上々を得な
いといふなりかと思えます。先ほど福岡議員からお父様の問題について
いさうお意見が、おまーさんですが、それはどうもだと思えますが、

ただ役所の書類の手続きをスムーズな場合には、このうちの手創でなりと
やりやすい面が出て参りますので、これは結構だと思ひますが、こゝに
ば敬芝の意味を言ひてあるところ、文場から市の方から丁重に扱
つて御本人まで証書を届け来るというところの親切さがあつてはいぬ
てまきるんじやないか、市までとりこいというふうな、お役所的な年
金であつたならば、受取るなりという人も出るんじやないかと思ひます
ので、この面は丁重に敬芝の意を表して、お年寄りのところ、市か
ら届け来るというところの親切心を、運営の面でも現わしていただきたら
と思ひます。とうとうふつな運営上の問題で、本市に年寄りを敬う
という形で実施していただくとするれば、私はこの案も、それなりの賛成した
らと思ひます。以上です。

○議長（中井澤君）お諮りいたします。本案に対して御異議の有り

あかしら (「ムシウチ」の作者あり)

〇一七番一 鳩貴江依君) 私はいま申上がた奥に研究すべき余地があると

思いますので、事實は委員会へまけていただきたい。この思うものであります。
議事(三) 津君) たいそう十七番議員から本業を委員会へ託して
いふような御意見が出てあります。それに対して御賛成の方。

〇二番（伊勢仙三助君）まだ専議として御意見を伺つて
 思ひますか、何處か非論に成るのであります。この問題
 を討論しても十分討論し盡せるといふ事に解決してありま
 せん。第一、問題になつてゐるのは、如何の問題だかと思
 ひます。その問題だかといふ事に御注意があつて、その問題
 として決定してゐたか、否、討論してゐる。討論してゐる
 場合は、その問題だかといふ事に御注意があつて、その問題
 として決定してゐたか、否、討論してゐる。討論してゐる

○議事(の)井澤(三浦)蔵^{ミヅウ}の同くある意見が、出ま—うた。馬場の議事

とん、ちのよしにすゝんとて、御養取ぬかこますあ。

○一七番(鳩谷北作君) 北は妻。良。玄にみけてやうて
訂くのかいりと考えて

あります。

〇三四番(飯田義男君) 市長さんにお伺いします。この案は非常にいい案だと思います。しかしながら、額は非常にすなわんでござりますが、将来これが増額される介入ということが予想されます。従ってこの新創自体は非常に重要な新創ではなからうかと考えます。従ってこのいい付題に対しては委員会に「応事」と判は御相談されるのが本来だと考えます。その点について市長さんの御見解をお聞かせたいと思います。

〇一七番(湯村正作君) 新創でござって一あります。と、二も新創でござる。すぐ改めることについては新創の権威上みうしてもおもしろくない結果をまいますと思ふにござる。新創でござることは、慎重な態度を願ふということが、もっともいふことではなからうか。この案をしますので、私は委員会へおかけたいと思ふにござると思ふするものであります。

〇一八番(田村利男君) 飯田議員さんの御案は、この案の中に入らねえか、議会の前にあるのを、食山市議會在山に入らねえか、

御意見に對して三十四番議をこれに賛成したてまつておしめす。送しな
一と動議は成立してあると思ひますが、これを牛車道の分談するべ
といふ御意見のうけは御成立をながります。

(成立すぬ)

○議長(石井 澤君)成立したものとします。NOをいふ人はおしめさ
る御動議をながります。

○二四番(山本 昇君)幸創の精神全船にいままで御説明を聞きた
したのでよくわかりまして誠に結構な幸創だと思ひます。

そのうち一、二の点については同意したと思ひますが、敬業の態度とい
ことが強くおなをれております。これを態度といふことは、本文の
解釈の面についてはまゝであるから、これについてはおしめさ

されは、オナエのオミツは、その御中長にあり、年金の給付が
適当でないと思ふたとき、といふうな本文が、いふいままで、これに
まゝで長谷川所長から先般の説明がありまして、犯罪をあかして刑

裁判所にいつか審かへていよいよこのことが説明された。これはもうともか
ことだと思いますが、なんなんのこの問題でもいえますが、犯罪を一年具年
刑に要するは犯罪をあかした、それが裁判の結果罪が確定したものが
確定してからの通知するものか、その前にお訴中であるも、刑が確定
しない前にはなんのめいもいえないといふことかいいといふ。

もうひとつはた、簡単にいへば、けつなくもってほかにききとれる点があ
るかどうか、この点をお尋ねしたいと思ひます。

つぎにオミ集の問題でございますが、た、た、青の問題で、執行期満が
一年に満たないときは月割にまじり計算して金額とする。これは今の
考案してありますと、仮に八月の一日に満十六才になった、九月の十五日
に支給する場合はこれは八月十六日から九月十五日までの計算となる
のか、それとも養父年金といふような年金といふ建前と、先ほどの
数老といふ精神からいへば、ま、やはり八月一日にこれがなつて、
一年分をさるものが至るべきでないか、かように考へてますが、この点に對

する。解状をいつお聞かせかがいたうと思ひます。

○福祉事務所長（長谷川内治君）三木の解状から申し上げます。

格に申しますならば、本年月日にて申しますが、八十六才になった年のおは月割で差上げたい。みまうに考へてあります。

と、かゝるお六才の三厘ござりますが、刑が確定してからといふことと解状をいれてあります。

○一九番一黒川佐太郎君（文指良）が九月十五日になつてあるが、その後良になつたものは……

○福祉事務所長（長谷川内治君）九月の十五日は、是例的に止つたり、たゞ、その後八十六才になる方についてはお長いの定めた、それは結構な通呼といふことになつて思ひますが、なるべく早い機会に止つたり、みまうに考へてあります。

○三木（おま）月曜休む（お前年な例）ですが、さうして所長にお伺ひします。四月の十日で満八十六才になつた、といふ方も、お前年が支給される。

ようになっておりますが、支給が九月の十五日といふ話ですが、この
人がたまたま八月中に亡くなった場合にはどういふ小さな取扱いをするか、
月割でもこのあつかひの問題ですが、やはりこの年金といふ趣意からして
あくまで年金の十六に達した場合にはありと一年の十二ヶ月を一時金と
して支給するといふ感じがよくよく考へてあります。この点についてはま
づこの御答弁をあやがります。

○高辻事務所長（長谷川広治君）御説明申し上げます。オミヤの二割
を準用いたしまして全額差上げにしようと考えてあります。

○一九番（黒川佐太郎君）亡くなった方がおつたことだけで「蓄積」ですが、

月割といふこともないのもう一つは全額差上げをするようにしよう
かといふことです。月割と申しますとどういふふうなことになるか。

例として九月十五日に亡くなったのを九月十四日になされたといふ人は、

○オミヤ（岡村利雄君）黒川君にお話を申し上げます。

九月一日に亡くなった人は九月十五日に一月を計算してなく、九月十一日、

ナニニニ ナカクサマツノミヨウ 因五十六セハハ(三)ノトリ
ンヌンデトイ (ヤサシキカネノミヨウ) ノチノチ

日講長(石井澤君)他に御覽をいただきますか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（石井 潔 君）本席を退席するに付、御質問に答へませんか。

(「黒い」を「黒い」と呼ぶ者あり)

、~~漢~~唐（石井 漢）御要義なりと知れども、この本は宋の朱熹の通

議長（石井澤君）のついでに同僚の中澤君が、

（書記朗読）

議案第九号 館山市市税条例の一部を改正するにいて

○我部一課長（黒野芳雄君）議案ヲ九十五号モ説明申上ル。前記、
一、新風知リテ上下之たりのはや二節の都市計画我口実す。案

〇七番（鳥巻れ作）人格なり財団またな井田を返して同様にあうといふ
う親父が親父の改正のなみにあつたと思ひますが、とくそなつきりて聞か

サニシテガキマス。

。我々オ一課長(黒瀬芳雄)とシテハ在田マデハ法人ノ并リデスガ。

我々、ニ百八十四条、市町村民我々の勤労義務者の擔ツンガイマス。

一項ヨリテ、市町村民我ハオ一オの者ニ対シテハ勤勞義務及ビ

所得割額ノ各等割額ヨリテ、シメムルオニオの者ニ対シテハ勤

勞割額及ビ法人税割額ノ(5)算ニシテ、オニオの者ニ対シテハ勤

勞ニ対シテハ勤勞割額ヨリテ課税スル。コレガ。

一市町村民に住所を有する個人

ニ市町村民に事務所、事業所又は家屋敷を有する個人、ハ該市

町村民に住所を有する者。

三市町村民に事務所又は事業所を有する法人。

四市町村民に事務所を有する法人、ハ該市町村民に事務所又は

事業所を有するもの。又ハ市町村民に事務所、事業所又は

事業所を有する法人、ハ該市町村民に住所を有するもの。

やがて決算完了と徴税の仕事を終行と徴税する。なおそれについて
事決めたときは徴税の通下足がある。徴税の通下足は通徴または徴税の
通下足のガレミで通下足です。または大伴徴税の通下足の通下足として
何れかの字がある。通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と
我が目的はなりませう。通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と
まー。あとの通下足は通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と
まの通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と
への通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と
しなさい。

○これは通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と
通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と

○これは通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と
通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と
現在調査中と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と通下足と

ちよつとわかりませんが、現在私の手づつまんでありますのは、自
治庁みだり流れてきたものと勘定して扱います。大正期の
関係、商店連盟、商工会議所、汐入商業会、各商業会、弘人会、
青色申告、厚生園、財団法人、老人ホーム、医師会、歯科医師会、産科
関係、工業関係、体育関係、PTA関係、農業関係、宗教関係、
鑑支関係、政党関係、教育関係、この数育関係は数育法
の適用を認めないとしておりますが、PTAなどはサーボカードとか、こっ
ころもの全部ひつかかるように解釈ではなっておりますが、まだほんた
うに税務署関係とも打ち合やも進んでおりませんし、いろいろなお奇
史の余地がまだまだ残っておりあります。市会の議員団も全部からか
るようになっています。（「おのすけ」の案）（「おのすけ」の案）
（「おのすけ」の案）（「おのすけ」の案）（「おのすけ」の案）
（「おのすけ」の案）（「おのすけ」の案）（「おのすけ」の案）
（「おのすけ」の案）（「おのすけ」の案）（「おのすけ」の案）

のびずーと、きつーいもの。それからこの胸中央の問題になったのは、大
量の野球、まだなんか大きなものが、ありますけれども、大分さわりい
いので、中央びだんぼんはきりーと、わだ、私の方もそれになつて、胸
な結果になつて思ひます。現在ではその場所にあります（「指形」のま
ち、くねは入るみ入るなりか」と呼ぶ者あり）まあ入ります（「さー」と
呼ぶ者あり）（笑聲）

○議事(百井) 澤名(他) 角質疑之をしますか。

「異儀なし」と呼ぶ者あり

○漢書(10) 王莽傳 可決決是す。のうに海國漢のうに

(「要議なり」と呼ぶ者あり)

○議長(石井清君)御異議ないと認めます。よって本議事は賛否不明
通り決定いたしました。

○ 漢語 (の 中 漢 語) に ついて は 本 文 に 漢 語 を 用 いた る 所 は 漢 語 に 対 応 する

(附 記 説 明)

漢 語 を 用 いた る 所 は 本 文 に 漢 語 を 用 いた る 所 に ついて

○ 漢 語 漢 語 (の 中 漢 語) の 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

の 漢 語 漢 語 は 十 回 用 いた る 所 は 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

の 漢 語 漢 語 は 十 回 用 いた る 所 は 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

の 漢 語 漢 語 は 十 回 用 いた る 所 は 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

の 漢 語 漢 語 は 十 回 用 いた る 所 は 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

の 漢 語 漢 語 は 十 回 用 いた る 所 は 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

の 漢 語 漢 語 は 十 回 用 いた る 所 は 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

の 漢 語 漢 語 は 十 回 用 いた る 所 は 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

の 漢 語 漢 語 は 十 回 用 いた る 所 は 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

の 漢 語 漢 語

の 漢 語 漢 語 は 十 回 用 いた る 所 は 漢 語 漢 語 の 中 に 漢 語

ある事業といふことになつてゐるは共同貯蓄等ないが違ふところと思ひます。

(「草は草を成」と呼ぶ者あり)

の一人番(佐久間島や都君)にたいして議題となつてあります分理金庫創制足に
つきの議案は地方自治法第二十七条の規定によつて議会の
員会におきて予め公聴会を開催しなければならぬ。ところが新創の制
定または改正はできなかりことになつてありますので、なお公聴会開催
日前十日までに公表しなければならぬ規定になつてありますので本
案例に対する質疑はこれをもつてありと一々なほことに花消費は
委員会に付託され、何れにも二十日以内の最長の期間があります
ので閉会中の審査を特別付託されます。もうお聞きなさいませう。
の議案(の井澤君)にたいして十八の審議のめつたおたつてました議案道
行にこの動議を議題といたします。

お諮りいたします。ただいまの動議に御異議ございませんか。

(「賛成」「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（石井澤君）御異議なしと認めます。よって議案第九十五号にこれ
をもちて賛成を打切り、右にちに経常委員会に申会中、審査の
特別付託をすることに決定いたしました。

○議長（石井澤君）つぎに日程第十一議案木下六子を上程いたします。

（書記朗読）

議案木下六子里見氏居城復元資金積立金条例制定につりて、

○議長澤長（見下貴君）議案九十六号につりて解説明りいたします。

房総里見氏は里見義実を祖といひまして十代の里見忠義が改
易になるまで約十代百七十年間この房総の一部を支配して栄えた
豪族でございます。

それでこの館山城は九代義康のときは築城したということがいわれてあります
が記録によりますと天正十六年に工を起しまして三年かかって天正
十八年に竣工して岡本城からここに移ったといふことがいわれてあります。

のことがいえます。

と云ふ館山市といふことは時代の潮流を浴びて城の上には立派な城がそそり
立つてゐることはしままで観光上のポイントに乏しかった当地方にひとつの大きな
変化を予感するものであらう。このころには考へましてこの積立金条例を設置
したと思つてゐるでございませう。一部市民の間にも館山城を復元したいといふ
声もござります。またそれを熱望する運動も起つてゐるといふことは申して
あります。と云ふ市といふことは毎年度予算で定める限度で資金
を積立てて観光施設の上に一番前進したいと考へてゐるでございませう。
これは期限もつけておりませんのでいつか城を建てるに足る時期が
きまらうこの条例は廃止したいと考へましていつかいつまでもいついつ
には期限がつけてございませう。

〇この条例は（城ができてしまふと考へないといふことと考へますから
もちろん賛成であります。ただこの条例についてお伺ひします。

条例のなかに積立金の収入・支出は予算に計上してありますか。

○七番一馬舟中作君（その意味がすぶる不敵座になりは—なりかと思ふもの）
あります。づありますみら使われない金と又出す。といふことはなんどあります
か。ただ収入は毎年九月なり九月に御報告下すといふ。いふとこれは
考へるにであります。

○一（勝田順一君）みなうすしも料は反対するものとはありませんが。
こゝには里見居城の復元と書いてあります。かなうすしもこの事例では
館山の里見取復元ではないのであります。しきく（勝田順一君）の説明は
よくていふと館山に現る華麗な天守閣といふのがあったと想像する。
想像話をきいたんづすけどこれはあつて居城といふにやうといふ
表言ではあるが天守閣を意味するんだと思ふのであります。

しかし今日館山城に天守閣があったといふはきつて一五事実はありますか。
と云ふと里見城といふなうがこれは自分の生まれたところばかりいふわけ
ではないが、館山城の方がむしろ里見の千代ではなかったか。かゝる
事象方りと推すのきつりがあつてすぶる不敵（不敵）愉快であります。

私は里見秀城の復元とありますので、私どもの播磨城もかきつなるとか

いふところなんなら話はわかります。(大井) 上の題もあつたといふと思ひ

ます館山口城があつたのはたしか、改竄されたやつに傳へておられますが

私もはいはいと承知はしております。播磨城のうちは今の地形から

天守閣のあつたところにはあつてゐます。あつたのは十一年間にわたつて

里見氏が城を構へてあつたのであります。館山の方は今の山手山

くうくうと云ふ山と通つたのであります。いふところにはいふところ

にはあつたといふところはたしかないといふところは一か所だけなるといふと

あつたのであります。なんか世人を欺瞞したといふ事もありますので、

この城のことも承知してはあつたといふところにはあつたといふ

ところにはあつたといふところにはあつたといふところにはあつたといふ

播磨城に城がなかつたといふことはありませんが、した大井には現在館山

の城の中心としてあつたといふことはあつたといふことはあつたといふ

の考へ方から承知してあつたといふ城の形のものであつたといふことはあつた

市といふまでも、これだけやる経費があるという呼び水の意味にあきまゝで
差当り百万円というものを予算に計上したいと思つてやうでございます。

としてたゞいま追加計算をやらなくてもいい御意見がありまう。だが、糖山
 地区におきまうてはすでに回轉資金もいたしまう。西山の費用を回轉金
 で事めてあるところもあるわけにいまう。またこの遠くにも里見会の
 育成もあり、里見居取に対する研究がかなり熱が起つて参りましたので
 この機を捕まえて多分市民の協力、還元への推進、こういう意味で
 ようして議案に載せたわけになりますので御手紙がいろいろあります。
 第一信用金庫（？）というものと、積立金というのにはうています。が、市民
 の熱意がうんといいものになって参りなう。ひいてはいろいろな場合にはこれと
 一船貯蓄へ廻向けたいまう。一船貯蓄のすべを使うというふうなあ考
 うはあります。かゝるつきりとお伺いします。

○市長(田村判男君) どういうことかあるいはあるかも知れません。現在の田村市長としており得ないうように努力をいたしてまいります。

過船社長崎に参りまして、早処理の件をもち参りました。が、やはり手
 足る百口要しましてかなり自慢した処置を致しておりますが、結果を見
 全なものと云つていいところが、つまりし取完全処理といふことばかり大き
 な問題でございます。くまし来年度にあきまへていつい何時ありたくま
 した結果なんぞかの形がいかに処理あるいは早処理の問題にま
 つけて参ります。いろいろいふことはあるが、いかにいふことは
 ない。

なお海岸、児童公園の問題でございますが、早急なことをしております。
 児童公園は中村代議士の好意によりまして、その早急な件を
 いろいろお言葉がかりの御趣意をもちまして、市議会に市の所有と
 していただくなりするのべ、大卒の期向は十一月一日から着手する
 予定です。海岸道路も一まへては着替ひたいと思つたが、あつた
 かのまじまじと一海岸道路の公園、遊び場、公園といふものをも、何
 かに一まじまじと一海岸道路の公園といふものが、おまじまじと一
 海岸道路の公園といふものが、おまじまじと一海岸道路の公園といふ
 ことが、自然公園といふものと、現在と不調のたが、公園といふ

すがなかにめは使ひたし思ひますので、この際、船賃をいふと、
 船賃は船賃として下ります。その上、米屋の船賃として、
 もつたかゝりませう。

〇三々船（船田船）十とて、船賃は、いふは、いふは、いふは、
 と、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、
 入つて、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、
 各万に、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、
 すが、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、

〇三々船（船田船）十とて、船賃は、いふは、いふは、いふは、
 入つて、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、
 各万に、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、
 すが、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、

〇三々船（船田船）十とて、船賃は、いふは、いふは、いふは、
 入つて、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、
 各万に、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、
 すが、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、いふは、

一般の主人は、この書には其意通の主人になつてゐるであらう。著者は、
読者に入つてゐるものが別段にそこにあるといふものではないと考へてゐる。
んがすが、こゝに言葉を使ひ、いかに悪いかを例としてゐるのは、たゞそれ
うな筆創もつくりたくありません。そのうち、そのうち、そのうちに。

のが事(目) 相利 思ふ(度) 驚ていう言葉を使い方のはあんなに驚から
 持つたものひさかたさういふお持てなさいましてこのお持てなさい
 なさいとてお持てなさいとて(「お持てなさい」のひさかたさういふ
 しににまじはつ)と呼ぶ者あり

議長の御席へお諮りいたします。他に本議案に対して御異議ございませんか。

「異議あり」と呼ぶ者あり」

二番(橋本辰吾) 支出のなりものも支出だと書りつありつ そのために
 どうも受けるようになってが、おつたのは、我は困ると思ひますから
 支出は認めないといふ節にはありつ書成へますから、その字句があつた

議長（おそれる）たゞいま許可より草案訂正の申出がござりました。

この訂正箇所はオニ条のその財源は競輪収入とありますのを競輪収入をとりまして一船オ入のところに改め、もうひとつの訂正箇所はオ四条を全条を消する。このような草案訂正の申出がござりますが、この草案訂正は御異議ございますか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（おそれる）御異議なしと認めます。（「もうひとつの説明がござります」と呼ぶ者あり）申上げます。たゞいまおるのオニ条草案訂正の申出がござりました。それはオニ条のその財源は競輪収入のとあると、これを訂正いたしまして一船オ入のに改めます。もうひとつはオ四条の全部を消する。こういう申出がござります。

議長（おそれる）私はこの案には賛成するものがあります。が、オ四条の全条を消すことには反対します。翌年の九月に経理に付する報告はせむいでもうたひ。それからオニ条の競輪

といふことを範圍内とする。あつてもまづ清一はすかいらしく考へておられます。
 二一番（脇田順一君）つうにたゞもとを親切なる注意を議長さんにいた
 したいてあります。この豊田の里見城復元といふことは、研究会が
 あつて研究中のやうであります。ひよいとすると、金山城のすゝなは天守閣
 はなかつた。しんじつと思つてよのまはなつて一まゐりなど、結構がよいも
 知れ方に、復元といふのは文字の二すゝ通り元へかゝります。なにものど
 か三すゝといふのはあかひから再建といふ言葉の方がきつなりなう。清
 一さんやなりかと思ひますかね。

のち書一冊刊行。君（復元という言ひですが、かならずしも立木一本にいたるまで元の通りなりなればいけないうんてなく、平泉の城が落ちたので三階に直しても復元といつていいと思ふわけだ）をいま一々どういつ言ひ書きを使ひました。

の二番一脇田 順一(名) 市長さんはおそろしく天守閣は一番観光価値がある
ものでそれを考へてゐるんですよ。城といつたけれど、たゞ覆元でいいけど、

ところが目的なんですよ。そうなるものをつくるのはあかしいですよ。

の三四番（飯田義男君）「たゞいままでから十四条を全部まっ後へたりと
 いふような御意見でございますが、私はやはり予算に訂正して報告して
 いただいた方がよいと思います。どうして四半を削減する必要があるか、どう
 になったか、その理由を市長さんに御説明の方がよいと思います。

○後、新課長（元戸貴君）が四半ではっきり仕入・支出を予算に訂正して
いま一たのは、これはいいにいいまい、たわけでありまして、仮にこれを
とりましても、収入よりもはか入に訂正しなればいけなからしい。また積立金
を支出する。席言には、才出に訂正しなれば、その手帳をながさず、せん
のど、これはなくとも、手帳上はさういふことでも、なけれ、いけなからしいこと
で、さういふので、いります。

○九番（黒川佐太郎君）この実現するのほりつ時分になる御予定でござりますか……
お答えなりければ私共と一言申上げます。

最近、ごく近
くに、三に農村
におまゝは政
府の補助に
よりま

して地方対策協議会が設けられる。この資金は非売品に明記し、通

じがあるわけでありませう。UNNの館山市は海軍基地の通り、税収入が主で

る財政ではないにせう。一歩でも今回のような状況にならざるを得ない

は市であることも財政面で致々としてあり、また市の発展もあるから、

UNNの館山市は市長がUNNの計画を推進するつもりで、UNNは是非とも

UNNの計画を推進するつもりで、UNNの計画を推進するつもりで、UNNの

計画を推進するつもりで、UNNの計画を推進するつもりで、UNNの計画

を推進するつもりで、UNNの計画を推進するつもりで、UNNの計画を

推進するつもりで、UNNの計画を推進するつもりで、UNNの計画を推

進するつもりで、UNNの計画を推進するつもりで、UNNの計画を推進

するつもりで、UNNの計画を推進するつもりで、UNNの計画を推進す

るつもりで、UNNの計画を推進するつもりで、UNNの計画を推進する

つもりで、UNNの計画を推進するつもりで、UNNの計画を推進するも

ついで、UNNの計画を推進するつもりで、UNNの計画を推進するも

介助といふことなりて

議会の傍聴者は、そのための権利を

表やうなものか、裏のものか。
私に記憶するのはどうしたらと

はりかぬ。議長は議長を厳正にぬやなくちやみぬといふ見解

下もつてあります。が、すまうと御参考までには

日曜日 長一石井 常石 両手があましたん ひすが、 我よくかくあつ

さんすか
 ぬきまをいまいとも
 諺事の妙算にならなければ

差支なりとある程度許さるべきかといふ見解を有てあり

議事の妨害であつてはなりません。

二二番(吉田勇吉郎) しまゝ音平かきまゝ一たかゝとこいひひひひひひ

なっていますか。その学校は、よくて競争する学校を潰してい

左を左にと思ひます。

事務局長（高梨第一）御前にはあります。御上の事をよく承人

反響を測つてゐます。これのやり方にて。

夢の夢を夢に見る。ふたつはななり。

○議長（お井 淳君）（ごうご日程お十四議案第九号を上げいたします。

（書記朗読）

議案第九号昭和二十一年度一般会計追加更正予算

○秘書課長（兒戸 貴君）九十七号議案の才出から御説明を申し上げます。

か二款の市役所費は二百八十九千三百円を計上いたしました。このうち旅費は七十九円を計上いたしました。旅費は本年度七月に手創を改正いたしましたので宿泊を要する会議や研修会等が多くなりました。た関係で九月二十日現在で約六十三万零一とありますので、こんどの所要見込額を計上いたしました。退職手当てにつきましては、はつとほど秘書課長から申し上げます。二項の監査費でございますが、一万二千三百円の計上でございます。これも旅費でございます。理由はやはり市の所費と同じ理由でございます。現在二千九百九十円の欠けになりますので、こんどの所要額を見込んでおります。

○秘書課長（山谷 潤君）市役所費の退職手当てについて御説明申し上げます。

する五月二十七日に議決なりました館山市職員の退職手当の特例に基きまして今回の勧奨の退職を希望するものは十名ありますのでそのうちの八人は市役所の職員の費より給付を又給付していただきます。この退職手当の総額は二百九十九万七千円を要するのでござりますが、これをも退職予定者の制度を利用できる分は八十八万七千ありますのでその不足分は三十万七千のため追加計上してまいりました。

なお三回の市防費中に諸手当のところで退職手当九万四千計上したくまいりますが、これは市防費の職員の一人毎ように退職したときも計上してまいりますのでそのものの職員の給与の昇給を引用してなおその分は九万四千、そして今回の退職手当と一と計上してまいりました。このほかにも市長事務費の以外で毎ように退職者が一人ずつ計上してありますから、これはこの職員の退職手当にござりまするものはその職員の給与の減額を要してまいりますので今回の追加計上は二十八万七千以上になります。

この同所のはり武寿という人の被爆を考えたのになんていふ
 消防署へは出動の要もなかつたからさうして、
 いろいろ考へておられたい。どうも、
 一、この消防署として、一、人を招き入れ、
 なるもの消防団費、六万一千円、
 費がかかります。各分団の分団費、
 千円と考へます。

○教養部課長（鶴江寛一郎）「この教養部にはおきかへて、
 月を追加いたしました。また、
 いたつた感じがしますが、これは先ほど
 理由と、十月十六日から十八日まで、
 市が申入れますために、
 しますのを追加しておきたいので、
 します。

このように、
 市が申入れますために、
 しますのを追加しておきたいので、
 します。

まゝに引揚着いた金の事務が本年五月から三万のていどは
すが、このためにおくす。所収用入并より人分計上してまいら
れたおきこりよりみえぬ。これは五月に生活保護費を一時東洋に貸し
か突然改正されたためになした。印刷費、印紙、どういつもの総額
を計上にしたい。三十二の修繕費は自動車、修繕費、これらも一
年度の施設事業費借費に三十二万円計上したい。三十二のあめ
料、十の月、これは市の社会福祉協議会にわたす。その分、後のあめ
料でといておす。これはおや算の際に議会の一方からあめ料があつた
らまゝ、市長が答弁した。また、位額所得者について、簡便に
申します。社会保険ですが、この手帳、書類等を簡便にする
要請があり、福祉協議会に事務をあつて取りたい。あります。
それから三十二の生活保護費、助成金として二二万円計上したい。
まゝに、これは一回御決議をいただきまして、養育年金にわたす。
金額をいかにするかと、大井町の十人を減らすといふのは。

のことがありますが、この事業所設計調査は本年十月一日現在、農
林水産業を除いた全事業所について実施したもので、甲調査の
結果をその対象となつた事業所のうちサービス業、旅館、理髪屋、
医者などが含まれますが、これに就する事業所の数はこの十月十日に於いた
乙調査の二つの調査がそれぞれ甲調査の対象の事業所数は
二千四百六十九、乙調査の事業所数は二百八十七でございます。
この調査がござりますが、これは調査用の文書費、労務費その他
費がござります。

○建設費（見込）は、この年度の公債費は百二十万の更正費、この二
つです。一時借入金、の利率は二厘、百二十万の金利は二万四千円、
現在まで支出したものは、この年度の建設費は、この二つ、百二十万、
支出費は、この二つ、百二十万、現在の財政状況からいへば、この二つ、
一時借入金、この二つ、百二十万、この二つ、百二十万、この二つ、
百二十万、更正したものの、この二つ、百二十万、この二つ、百二十万、

○我邦ナニ課長(山口実司)ナニテ其諸支出金ナニ徴税費オ三目市徴税
總收書四万八千六百六十円追加にして海防明申上げます。

市ふる徴税吏員の手差で月額の旅費でもつて支給してあるものござ
ります。その月二十五日 横山市職員の旅費の「部」に「市」に
一〇我邦手差で改正したものがあつた。そのうち一〇は全同年度の
旅費を裁減更正してしまつて二十五日ナナナに更正してしまつて
新たにその職員の手差で新たにしまつて、そのうち一〇は追加を
あねがひたいものになります。

○海防課長(見守)大坂の雑支出金として毎月一〇を計上してしまつた
その内見守大坂の還元給金の積立金としてになります。その合計
は三十四万八千二百九十円になります。

しきには入にいつて海防明を申上げます。その費の地方交付税など
は、そのうち、その三十九万八千七百九十円を計上してしまつた。普通交付
税は三十二年度分の決定がございまして、そのうち八万四千六百九十円は

いんかう五萬の國庫支出金等につきまゝこれはこの御覽になつて
いたゞりねむるものゝ説明を附いたしです

本三番目のほり廊下のトタコの仲ひありますが、こゝも要に節分は
 除ふてありまして、なお使用可能のものをあそこに残したり、つてど
 ござります。ほり廊下の修繕と屋根のふき替三工事は、奥庭の計画
 に載っておりますので、その工事を進めたりと思ひます。

最後は同市と同村の間に差別があるんじゃないか。さういふお話を
ごまかすのが私どもの考えでしてたゞいまは我々の公平な選元のひとつ
が学校建設にあると。さういふ観点から公手はさうなのを我々
同市とくらべて同村と比べてもね。我々もね。向上するさうい
ふところさういふ念を抱くことまで進め。我々もさういふね。さうい
ふお話を。

○二番（富指文は君）大伴ありまゝんてすれ。オ一の筆番のうへ（台）風かくるみ

と解するといふに、この解は高があまりなつたのは結構ですが、いゝと
いふまでもなく、全刻の連符もなかつたかといふので知照した方がよいが、
つぎにひき登るの樂の癖になつて固所ですが、なるほど、重本の上からぞと
おしんづくが、筋の正とこころをかうか打てませんから、修繕したところにはいま
りやまがあります。重本とか陳本とか腐本のも昨年は取換まつて、そと
は取換になつていふのはどうかと思ふ。一はかゝれば、父兄に教へるとい
ふ見解であつたらぬかなうともう解いたしますが、固きに腐してゐる

つぎめとりひらきります。これは腐つてあるとみえて下が痛むといふ
ようなこともあつてやります。なまほど腐つてあつたらうといふものは
しぬが、これは將來よくよく下をぬくのひきぬか。かみはふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ、これをひいてあきおねーです。

なあたり廊下、件々をします。リトタンを取壊してそのトタニ

ふたつ遺憾ながら改葬のすまへは考へてないのうに思はれます。
○川井(佐藤文三郎)文書(田)附一がもし入るならこの川井
の文書ですが、この川井は居るのかどうかよくわかりません。たぶん川井
文書はほんとうに川井の国が吹けば飛ぶような文書ではないかと思ひます。
御覽になればわかりますが、大事を往來するものではないので、
この文書はなにも川井の文書ではないので、この川井の文書は、
早急に改葬してしまふものではないか。附一は、この附一の文書も、
川井の文書として修理していただくつもりでありますが、この文書の
おとす

○川井(佐藤文三郎)文書(田)附一がもし入るならこの川井
の文書ですが、この川井は居るのかどうかよくわかりません。たぶん川井
文書はほんとうに川井の国が吹けば飛ぶような文書ではないかと思ひます。
御覽になればわかりますが、大事を往來するものではないので、
この文書はなにも川井の文書ではないので、この川井の文書は、
早急に改葬してしまふものではないか。附一は、この附一の文書も、
川井の文書として修理していただくつもりでありますが、この文書の
おとす

入備のお舉り後になりましてこのことが非常に多く知られましてたゞ
また最近連が入つて昔債のおた家へいざいざ回りましての解と亦
多うと、南金のおまじゆめなにときにも利用して貸却をいつて今迄の
あつたやうにその借入のつとめと協力をし、おまじゆに現在貸却をなかつ
な、おまじゆの華名の散布もつてあります。なるべくなる、本年度にお
おたりには負債の見通しを考へまして、貸却の建ちもあつたに
たいと考へてあります。また、はつきりとした時期が申上げられな
り、は申しわけないと思つてあります。

〇二番（吉田勇太郎）は説明を十分聞きたんがなかったためにもう一度
 聞きたいところがあります。公債費であります。公債費の四十二万、戦額
 五万とすなわち利子かもうかった、あるいはような運用の成果であつたといふ
 ことは、これは東京に喜ぶべき現象だと思ひますが、この説明のなか
 に十九万という費の説明がありまして、その十六万の額は、いんなも
 ののつたみといふこととすなうと、お説明なかりたいと思ひます。

「異議なし」と呼ぶ者あり

午後五時三十分開會。

第廿五議會年

會議錄署名錄

后井濤
小塘光義
田中忠藏

